

放課後等デイサービスどれみくらぶ評価表

事業者

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%		・利用人数によって車椅子からマットに降りて過ごされる方と部屋を分ける場合があります。
	② 職員の配置数は適切であるか		100%		・複数の学校への迎えが重なった場合に見守りの職員が少ない場合がある。 ・殆ど送迎に介助者を付けられない便がある。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	75%	25%		・バリアフリーが故に触れるものを入れる場所があり危険を感じる配慮している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	50%	25%	25%	・毎日ミーティングを行ってから業務を開始している。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		・アンケート結果を踏まえ改善を行えることは随時行っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	25%	25%	・定期的に開催している職員研修への参加の機会を確保している。参加できない場合は研修内容の書類の回覧を行っている。
適切な支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・大きな行事については話し合いを行い立案しています。毎日の活動については週ごとに担当制を設け実施しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・前年度の反省を踏まえて立案することで工夫しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	75%	25%		
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・送迎、その日の活動、その他の報告事項等を必ず確認してから業務を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			・終了後の全員での打ち合わせが難し場合があるので翌日に必ず情報共有をしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・些細な変化でも記録として残すようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	75%	25%		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	25%	75%		・ガイドラインとの照らし合わせる作業が行えていない。
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	75%	25%		・開催時間帯によって難しい場合がある。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%			・下校時間等について保護者と直接連絡を取り確認している。急な下校時間の変更等で把握が難しい場合がある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	75%	25%		・主治医と直接連絡を取ることは難しいが意見書等で確認し、こちらの医務と連携しながら可能な範囲で対応している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	75%	25%		・必ず保育所等へ訪問し情報共有に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	75%	25%		・直接の情報提供は行っていない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	50%		・必要に応じて法人内の児童発達支援センターに連携や助言を受けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		75%	25%	・併設している特養の行事等で近隣の保育園児等が参加する場合がありますが、一緒に参加することはあるが、直接交流する機会は設けていない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	75%	25%		・参加を検討しているが実現に至っていない。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25%	75%		・連絡帳や送迎時の話の中で情報共有に努めているが、どこまで共通理解に繋がっているかわからない。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	25%	75%		・必要に応じて実施検討していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75%	25%		・契約の際に保護者の方にお伝えしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	75%	25%		・連絡帳などで相談されていることがあるがどの程度まで適切に応じて支援をしているのか分からない。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	25%	25%	50%	・現在、父母会はありません。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・その都度上司に報告、必要な時には関係機関に相談して保護者に説明を行っている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・月に1回お便り作成し配布しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	100%			
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	75%	25%		・主に個別面談(年1回)、連絡帳で行っているが必要であれば電話にて対応している。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		25%	75%	・施設全体の行事に参加する機会を作っています。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75%	25%		・職員には周知されていると思うが保護者には周知されていないと思う。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			・消防計画に基づきおこなっています。
	④③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	50%	50%		・虐待防止委員会の運営に基づき行っています。
	④④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			・支援計画に記載し保護者の同意を得ています。
	④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25%	75%		・個別面談等で保護者に確認しているが、医師からの指示の確認が行えていない。
	④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			・医療安全委員会の活動内にて共有しています。